

## 8 抽台危険期におけるハウレンソウ品種比較試験

### 試験の目的

ハウレンソウは長日条件で抽台が促進されるため、高緯度の旭川は夏至に近い時期(本稿で「抽台危険期」と称します)が特に長日で抽台しやすく、出荷が難しくなります。この時期の当地では、主に「カイト」を基幹品種としていますが、この品種は抽台しにくい一方で栽培が難しい特性があるため、生産現場ではもっと栽培しやすい晩抽性品種の登場を望んでいました。そして、このたび新たな晩抽性品種が開発されたことから、当地への導入の適否を検証しました。

### 関係先

旭川青果物生産出荷協議会ほうれん草部会、東神楽農業協同組合ほうれん草部会

### 試験作期等 (平成 30 年の夏至は 6 月 21 日)

	作期 1	作期 2	作期 3	作期 4	作期 5
播種	5 月 28 日	6 月 4 日	6 月 11 日	6 月 18 日	6 月 25 日
標準品種収穫	6 月 29 日	7 月 3 日	7 月 14 日	7 月 20 日	7 月 27 日

### 供試品種

No.	品種名	販売元	No.	品種名	販売元
1	カイト (標準品種)	サカタのタネ	3	ネオサイクロン	トーホク
2	No. 1 1 0 3	タキイ種苗	4	ディープサマー	武蔵野種苗園

### 調査方法

#### (1) 調査項目

- ア 生育調査：発芽良否，収穫・抽台までの日数，障害の発生状況など
- イ 収量調査：収穫時の規格別株数割合，1a あたり規格内収量，欠株率
- ウ 特性調査：草丈，葉柄長，葉幅，葉数，平均一株重，草姿等形質，葉色，作業性  
※紙面の都合上，本稿では晩抽性に関係する項目以外のデータ掲載は割愛します。

#### (2) 評価指標





時期の関係上，晩抽性を最も重視して，各品種の評価を行いました。

### 調査結果

抽台危険期の栽培で最も重要な特性となる晩抽性に関するデータを，次表に掲載しました。各データ項目の内容は，次のとおりです。

収穫期	播種から，生育株の概ね 50%以上の株が草丈 26~28cm(M規格)に達した日までの日数
収穫時抽台率	収穫期に 1 cm 以上の抽台が確認された株の割合 (抽台株数÷生育株数×100%)
抽台始期	播種から，生育株の概ね 5%の株で 1 cm 以上の抽台が確認された日までの日数
抽台期	播種から，生育株の概ね 40%の株で 1 cm 以上の抽台が確認された日までの日数

結果としては「カイト」の晩抽性が最も優れており，それに次ぐのは「ネオサイクロン」でした。その他の 2 品種は，抽台始期および抽台期が収穫期より早かった作期が多く，当地の抽台危険期で用いるのは難しいと判断される結果でした。

品種	写真（作期5収穫後）	晩抽性に関するデータと評価					
カイト		項目	作期1	作期2	作期3	作期4	作期5
		収穫期	33日	30日	34日	33日	33日
		収穫時抽台率	0%	0%	20%	13%	3%
		抽台始期	-	34日	<b>30日</b>	<b>30日</b>	37日
		抽台期	-	-	40日	40日	-
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・晩抽性は最も優れる。</li> <li>・生育は遅いが、一株重が重い。</li> </ul>						
No.1103		項目	作期1	作期2	作期3	作期4	作期5
		収穫期	33日	30日	33日	31日	32日
		収穫時抽台率	0%	<b>67%</b>	<b>60%</b>	33%	20%
		抽台始期	39日	<b>28日</b>	<b>28日</b>	<b>27日</b>	<b>32日</b>
		抽台期	-	<b>30日</b>	<b>32日</b>	32日	36日
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作期1および5なら作付可能な晩抽性。</li> <li>・生育はやや遅いが、一株重が重く多収。</li> </ul>						
ネオサイクロン		項目	作期1	作期2	作期3	作期4	作期5
		収穫期	30日	29日	31日	30日	28日
		収穫時抽台率	0%	3%	20%	13%	0%
		抽台始期	-	30日	<b>30日</b>	<b>28日</b>	36日
		抽台期	-	34日	35日	33日	-
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「カイト」に次ぐ晩抽性。</li> <li>・生育が早く、一株重が軽い。</li> </ul>						
ディープサマー		項目	作期1	作期2	作期3	作期4	作期5
		収穫期	30日	29日	30日	27日	27日
		収穫時抽台率	3%	<b>50%</b>	<b>87%</b>	<b>100%</b>	13%
		抽台始期	33日	<b>27日</b>	<b>25日</b>	<b>23日</b>	<b>27日</b>
		抽台期	35日	<b>29日</b>	<b>28日</b>	<b>25日</b>	32日
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当地の抽台危険期での作付は不適。</li> <li>・生育が早く、作業性は良い。</li> </ul>						

※播種40日目で抽台始期・抽台期に至らない場合は「-」表記。

※収穫時抽台率50%以上、抽台始期・抽台期が収穫期と同日以前の場合は**太字**で表記。

## 考 察

今回の結果から、当地の抽台危険期においては従前からの「カイト」または「ネオサイクロン」を作付するのが適当です。実際に現場で最も普及している「カイト」の晩抽性は特に優れていることが証明された形ですが、この品種は栽培が難しい面があり、圃場の条件等によっては作付できない事例もあると思われます。この場合、現在の市販品種による抽台危険期のハウレンソウ栽培は事実上困難なので、①栽培を休止して夏季の安定生産を目的とした土壌消毒実施期間とする、②この時期でも栽培可能な異なる品目（コマツナなど）を作付してハウスの輪作体系を確立する、などの対応が現実的だと思われま